9月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手　吉田　晃基

行った主な活動

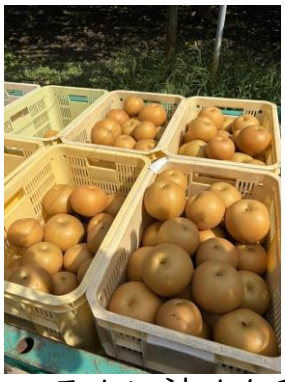
梨の収穫（幸水・豊水・あきづき・20世紀・秀玉）

9/4から幸水、9/8から豊水、9/17からあきづきの収穫が始まり、品種が重なる日は複数品種を同時に収穫しました。9/25には最後の土日に向けて豊水とあきづきを全収穫し、9/27には20世紀を全収穫。緑の梨以外は収穫を終えました。

木によって熟し具合が違うため、色や手触りを確かめながら、傷をつけないよう一つひとつ丁寧に収穫しました。



収穫した梨



コンテナに詰めた梨

選別・袋詰め・箱作り・シール貼り・道の駅への納品

収穫した梨の選別、袋詰め、箱作り、シール貼りを行いました。9/13は選別と箱詰めを中心に行い、選別基準を改めて確認しました。9/23はシルバーウィークの影響で道の駅に出すとすぐに梨がなくなり、1日3回納品しました。他の野菜などが残る中、梨の人気を実感しました。

選別・袋詰め・箱作り・シール貼り・道の駅への納品

台風対策として防風ネットを張り、ネットから出ている枝を切り落とし、ネットを直しました。

収穫を終えた畑の防除ネットを外してまとめました（台風前に強く止めていたため大変でした）。畑の草刈りも行いました。



ネットから飛び出た枝を除去



9月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手　吉田　晃基

活動を行った感想など

- 品種ごとの違いを学べた
  幸水・豊水・あきづき・20世紀と、品種によって収穫時期・見た目・大きさ・味や食感が違いました。あきづきの収穫が始まった頃は見分けに戸惑いましたが、毎日続けるうちに慣れ、作業のスピードも上がってきました。9/9の夕方には恵水のコンテストがあり、他の農園の梨を食べる機会は多くなかったので、味や食感の違いなど勉強になりました。品種ごとの収穫時期や見分け方をもっと勉強しないといけないと感じました。

- 天候への対応と事前の備えの大切さ
  畑がぬかるんで足を取られたり、雨の中の作業ではいつもの倍以上疲れたりと、天候の影響を大きく感じました。また、台風対策のネット張りなど、収穫だけでなく事前の備えも大切な仕事だと学びました。

- 獣害への対策が必要
  園内で野生動物が梨をくわえて持ち去ろうとする姿や、実がかじられて被害を受けた梨を見かけました。せっかく育てた梨を守るためにも、獣害対策の大切さを感じました。



園内で見かけた野生動物



かじられた被害果

今後の目標など

収穫を終えた園地の片付けや、収穫後の管理作業についても学んでいきたいです。また、今月学んだ品種ごとの収穫時期や見分け方を整理し、来シーズンは自分で判断して収穫できるようになることを目標にします。

